

第4回 田辺聖子文学館特別企画展
「花衣ぬぐやまつわる……
わが愛の杉田久女」

杉田久女生誕 120 年

会期:2010年10月18日(月)~31日(日) 平日、土・日とも9:00~16:00

会場:田辺聖子文学館(大阪樟蔭女子大学小阪キャンパス内)

《入場無料》

田辺聖子著『花衣ぬぐやまつわる…… わが愛の杉田久女』(集英社1987年)は、女流俳人として有名な杉田久女の生涯をその作品の数々とともに描いた評伝小説です。久女の生き方を近代女性のひとつの象徴として描いたこの作品は、第26回女流文学賞を受賞し、いまでも多くの人々に愛されています。

杉田久女生誕120年にあたる今年は、この『花衣ぬぐやまつわる…… わが愛の杉田久女』に焦点をあてた特別企画展を開催いたします。

展示内容

『花衣ぬぐやまつわる…』執筆にいたるまで **久女との出会い**

久女と虚子 杉田久女 と 俳句の師 高浜虚子との関係について

虚子・松本清張・吉屋信子らによってつくられた **杉田久女伝説**

わが愛の杉田久女 田辺聖子が描いた新たな杉田久女像

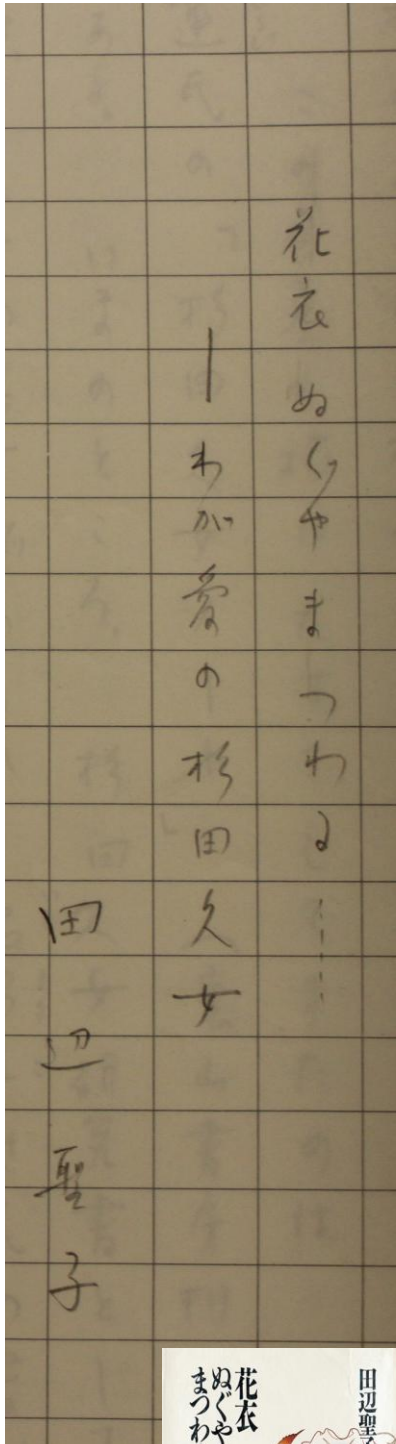
田辺聖子文学館

〒577-8550 東大阪市菱屋西4-2-26

TEL06-6723-8182 Fax06-6723-8387

http://bungakukan.osaka-shoin.ac.jp

第4回
田辺聖子文学館
特別企画展



「花衣ぬぐや纏はるひもいろいろ」

「研して山ほととぎすほしいまま」

「足袋つぐやノラともならず教師妻」

…数多くの句を残した杉田久女(1890-1946)。また久女のまわりには、まざまな問題——俳句の師である高浜虚子との関係、中学教師であった夫との葛藤、自らの才能と「女」としてあるべきこととの矛盾……がありました。こうした久女の人生を描くために、田辺聖子は5年の歳月をかけ、丹念な取材・調査を重ねることによって、従来の「久女伝説」にかわる新たな久女像をつくりあげたのです。

今回の特別企画展では、「花衣ぬぐやまつわる…… わが愛の杉田久女」直筆原稿や私家版特装本のほか、「久女伝説」に関する資料などを展示いたします。



少女時代の着物の生地で装幀し、題字を母勝世が書いた私家版特装本



単行本装幀（装画：岡田嘉夫）